

平成30年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語



平成30年4月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

平成30年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II 調査問題一覧表	9
A 主として「知識」に関する問題	10
B 主として「活用」に関する問題	11
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型等）	13
A 主として「知識」に関する問題	13
1 図書館への行き方を説明する	14
2 物語を創作する（宝物を探す物語）	16
3 オムレツの作り方を調べる	18
4 物語を読み，心に残ったことを説明する（『くらやみの物語』）	22
5 書いた文章を読み直す（春休みの出来事）	25
6 慣用句の意味を理解し，使う	28
7 敬語を使う	30
8 文の中で漢字を使う	32
B 主として「活用」に関する問題	35
1 言葉の使い方を見直すために，話し合う	37
2 献立を推薦する文章を書く（「かみかみあえ」）	45
3 伝記を読み，自分の考えをまとめる（湯川秀樹博士）	52
IV 解答用紙（正答（例））	61
国語A	62
国語B	63
V 点字問題（抜粋）	65
VI 拡大文字問題（抜粋）	71

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、平成 30 年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第 5 学年まで、中学校においては第 2 学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるよう解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書などは、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用にあたって

I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（解答類型、学習指導要領における領域・内容）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものがあります。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

■評価の観点

問題に関する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の*を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

※図はイメージです。

教科名 A ○ ……………

問題画像

1. 出題の趣旨

.....

2. 解説

設問 ○

趣旨

.....

■学習指導要領における領域・内容
〔第○学年〕

.....

■評価の観点

.....

解答類型

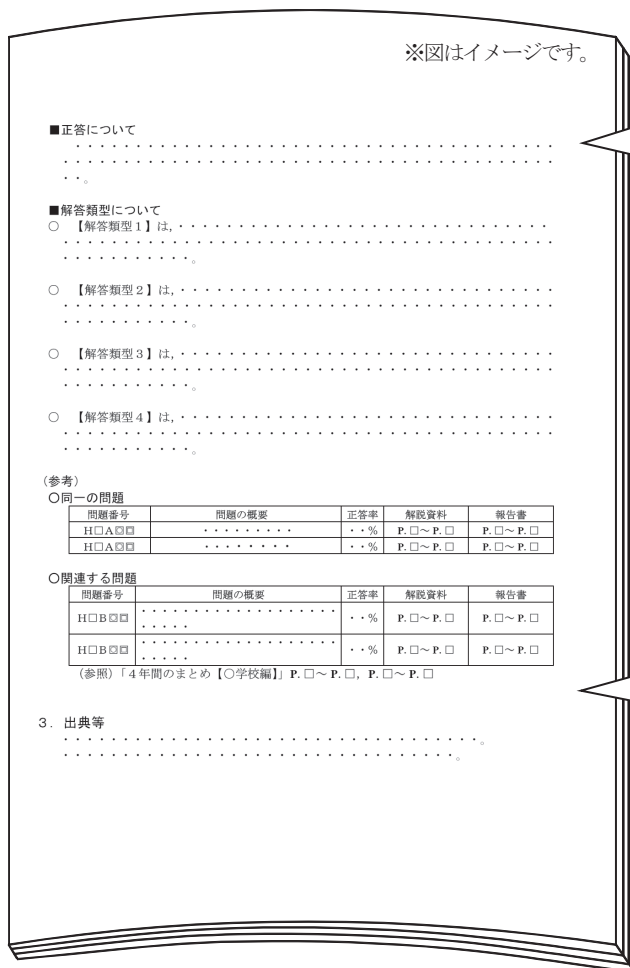
問題番号	解答類型	正答
○ ○	1.	◎
	2.	
	3.	
	4.	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

<解答類型> 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。解答例を示すとともに、必要に応じて「正答について」の解説を加えていますので、自校での採点を行う際や、児童生徒一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

<正 答> 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<類型番号> 類型 1～38（最大）… 正答・予想される誤答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までに含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）



■正答について
正答についての解説を適宜記述しています。

■解答類型について
予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)
過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。

3. 出典等
著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。
また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

小学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成18年4月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、調査問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

主として「知識」に関する問題 (以下『知識』の問題という。)	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 (以下『活用』の問題という。)	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容等を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせるといった国としての具体的なメッセージを示すこととなる」としている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、小学校学習指導要領(平成20年告示。以下「学習指導要領」という。)に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 調査問題作成の枠組み

(1) 領域等と評価の観点

出題の範囲として、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項をバランスよく出題するように配慮する。

調査時期が第6学年の4月であるので、第5学年の終了段階において習得すべき指導内容が出題の範囲となる。

※ 「A 話すこと・聞くこと」の領域については、児童が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近い形式になるようにして出題する。

評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点をうい、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とする。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、「活用」の問題における記述式の問題、「児童質問紙調査」を通して行うこととする。

(2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を焦点化して出題する。調査時間は20分である。

(3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を、学習指導要領に示された言語活動例などを遂行する中で活用できるかどうかをみる。そのため、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を複合させて出題する場合がある。調査時間は40分である。

(4) 問題形式

問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類とする。記述式の問題では、知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況などに応じて自分の考えを明確にして書くことを求めている。具体的には、「活用」の問題において、各大問の中に一題程度、記述式の問題を取り入れる。

各領域における記述式の出題に関する基本的な考え方を次に示す。

■ 「A 話すこと・聞くこと」における記述

「A 話すこと・聞くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、事柄が明確に伝わるように話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力を高めるとともに、話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、質問をしたり、感想や意見を述べたりする能力などを高めることが求められる。

「A 話すこと・聞くこと」の記述式の問題では、スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理したり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別したり、また話合いの中で自分の考えなどをまとめたりして書くような内容を出題する。

■ 「B 書くこと」における記述

「B 書くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、調べたことや考えたことなどについて全体の構成を整えたり、下書きをよりよく推敲したりして書く能力などを高めることが求められる。その際、礼状や依頼状、意見文、紹介文、記録文、報告文などの様々な文章の種類や形態の特徴を踏まえた上で、書くことの一連のプロセスに即して書くことが重要である。

「B 書くこと」の記述式の問題では、書くことの一連のプロセスの各段階で必要とされる能力を抽出し、前述した様々な文章の種類や形態の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書くような内容を出題する。

■ 「C 読むこと」における記述

「C 読むこと」の指導においては、目的に応じ、本や文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしながら読んだりする能力などを高めることが求められる。

「C 読むこと」の記述式の問題では、目的に応じて本や文章を読み、その内容や構成などについて理解したこと、要旨や書き手の意図について解釈したことなどを書くような内容を出題する。また、これまでの読書経験、体験などと関係付けながら、感想や評価などを書くような内容も出題する。

なお、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」のそれぞれの記述式の問題には、具体的な評価の観点を明確にする上で、必要に応じて解答の条件を付す。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

II 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【小学校国語】
A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
			聞話	書	読	伝	関	話	書	読	知	選	短	記
			く	く	む	国	心	話	書	読	言	選	短	記
			こ	こ	こ	語	・	す	く	む	識	択	答	述
			こ	こ	こ	の	語	・	く	む	語	式	式	式
			と	と	と	特	欲	聞	能	能	に			
			と	と	と	質	・	能	力	能	理			
			と	と	と	に	態	力	力	能	解			
			と	と	と	言	度	力	力	能	い			
			と	と	と	語	の	力	力	能	て			
			と	と	と	事	項	力	力	能	技			
			と	と	と	化	と	力	力	能	能			
			と	と	と	項	と	力	力	能	能			
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	3・4 イ						○			○		
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える		5・6 イ					○			○		
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える			3・4 イ					○		○		
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える			5・6 エ					○		○		
5	【春休みの出来事の一部】の中で、-----部と——部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く				3・4 (1)イ (キ)					○		○	
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う				3・4 (1)ア (イ)					○	○		
7	【話を聞いている様子の一部】の□ア□、□イ□に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う				5・6 (1)イ (ウ)					○	○		
8	ア 文の中で漢字を使う（せい造）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う				5・6 (1)ウ (ア)					○	○		
	イ 文の中で漢字を使う（せつ備）					5・6 (1)ウ (ア)					○	○		
	ウ 文の中で漢字を使う（しょう毒）					5・6 (1)ウ (ア)					○	○		
	エ 文の中で漢字を使う（かん理）					5・6 (1)ウ (ア)					○	○		
	オ 文の中で漢字を使う（せつ極的）					5・6 (1)ウ (ア)					○	○		

Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨, 解説, 解答類型等)

A 主として「知識」に関する問題

国語 A 1 図書館への行き方を説明する

1 村上さんは、駅で図書館への行き方をたずねられました。次の【二人の会話】で、村上さんはどのように説明していますか。その説明として適切なものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

【二人の会話】

すみません。図書館へ行きたいのですが、どう行けばよいでしょうか。青山橋の先にあると聞いています。

方分かりますか。

はい。青山橋までの行き方は分かります。でも、その先の行き方が分からないのです。

そうですか。では、その橋をわたってまっすぐ行くと左手に警察署が見えます。そこを左に曲がるとすぐに図書館が見えてきます。

1 徒歩での時間を示した上で説明している。

2 図書館の様子をくわしく説明している。

3 相手の知識を確認した上で説明している。

4 目印になるものを示して説明している。

5 交差点の数を確認しながら説明している。

1. 出題の趣旨

相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができるかどうかをみる。

日常生活に生きて働くよう、一人一人の児童が言語の主体的な使い手として、相手や目的、場面、状況などに応じて適切に話す力を育成することは重要である。学年が上がるにしたがい、児童の話す相手は、身近な存在の人々に加え、異学年の児童や地域の人々にも広がり、話す目的も多様になる。そのため、説明や報告をする、意見を述べるなど、伝えたい目的を明確にして話すことが大切である。

本問では、村上さんが、駅で図書館への行き方を尋ねられる場面を設定した。ここでは、村上さんが相手の知識を確認した上で、目印になるものを示しながら図書館への行き方を説明しているということを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

■評価の観点

話す・聞く能力

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
1	1	3・4と解答しているもの（順不同）	◎
	2	3と解答しているが、4と解答していないもの	
	3	4と解答しているが、3と解答していないもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

村上さんは、道を尋ねた人の「図書館へ行きたいのですが」という発言から、目的地が「図書館」であるということを知り、「青山橋の先にあると聞いています」という発言から、「青山橋までの行き方はわかりますか」と質問し、相手の知識を確認している。その上で、青山橋から先の行き方を説明している。また、村上さんは青山橋から先の行き方を説明する際に、「左手に警察署が見えます」と目印になる建物を示して説明している。以上のことから、選択肢3・4が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、【二人の会話】から、村上さんが相手の知識を確認し、目印になるものを示して説明しているということを捉えることができている。
- 【解答類型2】は、【二人の会話】から、村上さんが相手の知識を確認しているということを捉えることはできているが、目印になるものを示して説明しているということを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3】は、【二人の会話】から、村上さんが目印になるものを示して説明しているということを捉えることはできているが、相手の知識を確認しているということを捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25B 1一	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	78.9%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	48.8%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55
H25B 1三	川本さんの助言についての説明を書く	67.3%	P. 36～P. 41	P. 50～P. 55

国語A 2 物語を創作する（宝物を探す物語）

2

増田さんは、ケンとアンが宝物を探す物語を書こうとして、構成の「中」の部分を書くふうになりました。次の【物語の構成】をよく読んで、増田さんのくふうの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【物語の構成】

はじめ	ケンとアンは、村に伝わる宝物の話をおじいさんから聞き、宝探しに出かける。
中	<p>(1) 一日かけて、草原で第一の宝箱を見つける。箱の中には、宝物ではなくカギと紙きれが入っている。</p> <p>(2) 二日かかりで、山で第二の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>(3) 二日かかりで、川で第三の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っている。</p> <p>(4) 四日かかりで、海で第四の宝箱を見つける。箱の中には、またカギと紙きれが入っており、今まで見つけた紙きれを全て合わせると、宝物の場所を示す地図になることに気づく。</p>
終わり	ケンとアンは、村に伝わる宝物を見つける。しかし、二人にとっては「友情」が一番の宝物となった。

- 1 現在と過去を行き来して書き、読者に出来事のつながりが少しずつ分かるようにしている。
- 2 出来事に変化を加えながらくり返して書き、読者が展開に期待をもって読めるようにしている。
- 3 物語の結末の場面から書き、読者が展開に興味をもって読めるようにしている。
- 4 時間の流れとは反対の順序で書き、読者に出来事のきっかけが分かるようにしている。

1. 出題の趣旨

自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えることができるかどうかをみる。

物語は、主人公やその他の登場人物がそれぞれの役割をもっていること、フィクション（虚構）の世界が物語られていること、冒頭部に状況や登場人物が設定され、事件とその解決が繰り返され発端から結末へと至る事件展開によって構成されていることなどの特徴をもっている。児童が物語を書く際は、このような特徴を満たしながら、児童の思いを大切にしながら創造的な表現をすることの楽しさを実感できるようにすることが大切である。

本問では、物語を創作する中で、構成を工夫する場面を設定した。ここでは、出来事に変化を加えながら繰り返すような構成にすることで、読者が展開に期待をもって読めるようにしているということに気付くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ア 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること。

■評価の観点

書く能力

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
2	1	1 と解答しているもの	◎
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

物語を書く際には、時間の流れや内容、出来事の順序などに着目して、文章全体の構成の効果を考えることが大切である。

本問では、【物語の構成】の「中」の部分の工夫として、「宝箱を見つける」ことと、その中に「カギと紙きれが入っている」ことが、場所や日数などの変化を加えながら繰り返されているということを捉える必要がある。繰り返すことで読者が展開に期待をもって読めるようにしているため、選択肢2が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1, 3, 4】は、【物語の構成】の「中」の部分から、出来事に変化を加えながら繰り返すような構成の工夫と、その効果を捉えることができていない。
- 【解答類型2】は、【物語の構成】の「中」の部分から、出来事に変化を加えながら繰り返すような構成の工夫と、その効果を捉えることができています。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H28B 2≡	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	58.5%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69
H29B 2ー	【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	71.0%	P. 50～P. 57	P. 64～P. 73

国語A 3 オムレツの作り方を調べる

3

山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読み、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあとの感想」をよく読んで、あとの「問い」に答えましょう。

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか
オムレツ
(調理時間約10分)

材 料 (一人分)

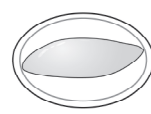

卵……………2個
バター……………5グラム
塩……………少々
こしょう……………少々

作 り 方

- ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- フライパンを前後に動かしながら、さいばして円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 表面が半熟状態になったら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにおらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることもできます。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおりに卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。

少しこけてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。

（問い） 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。



- 「材料」の分量を正確に読む。
- 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 絵と文章を結びつけながら読む。
- 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

山本さん……

川上さん……

1. 出題の趣旨

目的に応じて必要な情報を捉えることができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらと関係付けて読むこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

本や文章を読んで、必要な情報を得るためには、自分の目的に応じて適切な段落や部分を選び、情報を取り出しながら読むことが重要である。

本問では、オムレツを作った山本さんと川上さんがもっとうまく作りたいと考え、オムレツの作り方が書かれた文章をもう一度読む場面を設定した。ここでは、【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、オムレツの作り方が書かれた文章の中から、目的に応じて中心となる語や文、段落を適切に捉えて読むことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

- 〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと
- イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

- 〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと
- イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。

■評価の観点

読む能力

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
3	1	山本さんに 5 、川上さんに 3 と解答しているもの	◎
	2	山本さんに 5 と解答しているが、川上さんに 3 と解答していないもの	
	3	川上さんに 3 と解答しているが、山本さんに 5 と解答していないもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

オムレツをうまく作るために、山本さんと川上さんがそれぞれの目的に合わせて【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいかを捉える必要がある。

山本さんは、「作り方」のとおり卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったため、次は白いところが残らないようにしたいと考えている。「作り方」以外で卵をよく溶きほぐすことについての内容は、「ポイント」の中に「黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります」とあることから、選択肢**5**が正答である。

また、川上さんは、少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいと考えている。こげないようにするためには、火に関する内容を読む必要がある。火に関する内容は、「作り方」の**2**や**3**に書かれていることから、選択肢**3**が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、オムレツをうまく作るために、山本さんと川上さんのそれぞれの目的に合わせて、【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいのかを捉えることができる。
- 【解答類型2】は、オムレツをうまく作るために、山本さんの目的に合わせて、【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいのかを捉えることはできているが、川上さんの目的に合わせて、【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいのかを捉えることができていない。
- 【解答類型3】は、オムレツをうまく作るために、川上さんの目的に合わせて、【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいのかを捉えることはできているが、山本さんの目的に合わせて、【オムレツのページ】のどこに着目して読めばよいのかを捉えることができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H29A③	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	74.6%	P. 22～P. 24	P. 30～P. 32

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11

3. 出典等

- ・【オムレツのページ】は、ホテルニューオータニ監修『本当に旨いたまご料理の作り方100』（2016年11月 イカロス出版株式会社）などを参考にした。

国語A 4 物語を読み、心に残ったことを説明する（『くらやみの物語』）

4

中西さんは、武鹿悦子さんが書いた「くらやみの物語」を読み、心に残ったことについて説明することになりました。次の【物語の一部】をよく読んで、あとの【問い】に答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ
 五年生の夏休みの終わりに、コウタは、カクロウをふくめた塾の仲間と花火大会を計画していた。お金を出し合って買った花火は、コウタの家の物置に入れていた。しかし、その花火は計画の当日にコウタの母親に見つかり、水につけられてしまう。コウタは、そのことをカクロウに伝え、カクロウと自転車で仲間のもとに向かい、報告をする。そこでコウタは仲間の一人に厳しくせめられてしまう。

【物語の一部】

（武鹿悦子「くらやみの物語」による。）

（武鹿悦子「くらやみの物語」による。）

【問い】 中西さんは、特に心に残った文として――

部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
- 2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
- 3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
- 4 登場人物の会話から、おたがいを思う気持ちが伝わってくるから。

1. 出題の趣旨

登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

高学年においては、物語を読む際、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えることができるようにする必要がある。登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら読むことが大切となる。

本問では、武鹿悦子が書いた『くらやみの物語』を読んで、特に心に残った文を選び、その文を選んだ理由を説明する場面を設定した。ここでは、情景描写に着目し、複数の叙述と関係付け、暗示的に表現されている登場人物の心情を捉えて読むことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。

■評価の観点

読む能力

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
4	1	1 と解答しているもの	◎
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

登場人物の心情は、登場人物の行動や会話、情景描写などから捉えることができる。

物語のこれまでのあらすじや【物語の一部】から、コウタの状況と景色や様子を表す表現とを結び付け、コウタの心情を捉える必要がある。——部に表示されている情景についての叙述には、コウタの心情が暗示的に表現されており、母親への怒りや友達に責められた悔しさを捉えることができると考えられる。このことから、選択肢2が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1, 3, 4】は、物語のあらすじや本文から、場面におけるコウタの状況と景色や様子を表す表現を関連させ、コウタの心情を捉えることができていない。
- 【解答類型2】は、物語のあらすじや本文から、場面におけるコウタの状況と景色や様子を表す表現を関連させることで、コウタの心情を捉えることができています。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25B③- イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	45.4%	P. 50～P. 55	P. 65～P. 70
H29B③-	「きつねの写真」を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え， <input type="text" value="A"/> に当てはまる言葉として適切なものを選択する	76.0%	P. 58～P. 67	P. 74～P. 81
H29B③≡	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に，松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	43.9%	P. 58～P. 67	P. 74～P. 81

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 8～P. 9

3. 出典等

・武鹿悦子『くらやみの物語（新しいこどもの文学）』（1997年8月 小峰書店）による。

国語 A 5 書いた文章を読み直す（春休みの出来事）

5

大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と——部とをつながりが合っていない文があることに気づきました。次の「春休みの出来事の一部」をよく読んで、あとの「問い」に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

① ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。② ぼくたちのチームは、地区大会で優勝したのです。③ 今年の春休みは、とてもじゆう爽したものでなりました。でも、反省していることもあります。④ 反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

5

（問い） ……部と——部とをつながりが合っていない文の番号を、①から④までのの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号……

書き直した一文

1. 出題の趣旨

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができるかどうかをみる。

相手や目的に応じ、伝えたいことが伝わるように文章を書くためには、それぞれの文の中での語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文をどのように組み立てればよいのかを考えることが大切である。主語と述語、修飾と被修飾との関係をはっきりさせるとともに、「だれが」、「いつ」、「どこで」、「なにを」、「どのように」、「なぜ」などという文の構成について、理解できるようにする必要がある。

本問では、春休みの出来事について書いた文章を、それぞれの文の中での語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて読み返す場面を設定した。ここでは、「反省点は」と「用具の手入れをあまりしませんでした」とが照応していないことに気づき、文の意味を明確に伝えるために、正しく書き直すことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項
- (キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
5	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 選んだ文の番号を④と解答している。 ② 選んだ文を以下のように書き直している。 a ----- 部をそのままにしている。 b ----- 部と ----- 部とのつながりが合っている。 c 選んだ文の意味が変わらないようにしている。 (②の正答例) ・ 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。		
	1	条件①と、条件②a, b, cを満たしているもの	◎
	2	条件①, ②a, bは満たしているが、条件②cは満たしていないもの (例) ○ 反省点は、用具の手入れをまったくしなかったことです。	
	3	条件①, ②a, cは満たしているが、条件②bは満たしていないもの (例) ○ 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったです。	
	4	④と解答 条件①, ②aは満たしているが、条件②b, cは満たしていないもの (例) ○ 反省点は、用具の手入れをまったくしなかったです。	
	5	条件①は満たしているが、条件②aは満たしていないもの *条件②b, cを満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 反省している点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。	
	6	条件①を満たしていないもののうち、選んだ文の番号を①と解答しているもの *条件②を満たしているかどうかは不問とする。	
	7	条件①を満たしていないもののうち、選んだ文の番号を②と解答しているもの *条件②を満たしているかどうかは不問とする。	
	8	条件①を満たしていないもののうち、選んだ文の番号を③と解答しているもの *条件②を満たしているかどうかは不問とする。	
	99	上記以外の解答	
0	無解答		

■正答について

----- 部と ----- 部とのつながりについて、①, ②, ③はつながりが合っているが、④はつながりが合っていない。④の文を、----- 部をそのままにして正しく書き直すと、「反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。」となる。

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、-----部と——部とのつながりに着目し、④の文を正しく書き直すことができている。

○ 【解答類型2】は、-----部と——部とのつながりに着目し、-----部をそのままにして、-----部と——部とのつながりが合うように④の文を書き直すことはできている。しかし、文の意味が変わらないように書き直すことができていない。

(例)

- ・ 反省点は、用具の手入れをまったくしなかったことです。

上記の例は、「あまり」を「まったく」と書き直しており、文の意味が変わらないように書き直すことができていない。

○ 【解答類型3】は、-----部と——部とのつながりに着目し、-----部をそのままにして、文の意味が変わらないように④の文を書き直すことはできている。しかし、-----部と——部とのつながりが合うように書き直すことができていない。

(例)

- ・ 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったです。

上記の例は、——部について、「用具の手入れをあまりしなかったことです」といったように、-----部とのつながりが合うように書き直すことができていない。

○ 【解答類型4】は、-----部と——部とのつながりに着目し、-----部をそのままにして④の文を書き直すことはできている。しかし、-----部と——部とのつながりが合うように、また、文の意味が変わらないように書き直すことができていない。

○ 【解答類型5】は、-----部と——部とのつながりに着目することはできている。しかし、-----部をそのままにして④の文を書き直すことができていない。

○ 【解答類型6・7・8】は、-----部と——部とのつながりに着目することができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H27A[2]一	文の主語として適切なものを選択する	53.4%	P. 17～P. 19	P. 28～P. 31
H27A[2]二	文の型として適切なものを選択する	71.9%	P. 17～P. 19	P. 28～P. 31

国語 A 6 慣用句の意味を理解し、使う

イ

4	3	2	1
---	---	---	---

1. オークストラの演奏をきき、心を打たれる。
 2. 地域の発展のために、長い間、心を打たれる。
 3. 相手に失礼のないように心を打たれる。
 4. 同級生に心を打たれることなく相談する。

ア

4	3	2	1
---	---	---	---

1. 一つのこと集中する。
 2. 遠りよする。
 3. 感動する。
 4. あれこれと心配する。

【カード】

◆意味： ア	◆使い方： イ
-----------	------------

心を打たれる

6 北村さんは、読んでいた本の中に出てきた表現の意味と使い方をカードにまとめています。北村さんが書いた【カード】の **ア**・**イ** の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1. 出題の趣旨

日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことができるかどうかをみる。

慣用句は二つ以上の語が結び付いて元の意味とは違った特定の意味を表すもので、先人の知恵や教訓、機知に触れることができる。言語生活を豊かにするために、慣用句やことわざ、故事成語などの意味を知り、日常生活において用いるようにすることが大切である。

本問では、慣用句の意味と使い方をカードにまとめる場面を設定した。ここでは、「心を打たれる」の意味を捉え、文の中で適切に用いることが求められる。

なお、本問は、平成30年度全国学力・学習状況調査【中学校】A8四1と共通の問題である。これまでの全国学力・学習状況調査の結果を見ると、第3学年及び第4学年の伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア(イ)に関して課題があることから、児童生徒の実態をより丁寧に捉えて今後の学習指導の充実に結び付けるために、共通の問題を出題した。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) ア 伝統的な言語文化に関する事項
 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
6	1	アに3, イに1と解答しているもの	◎
	2	アに3と解答しているが, イに1と解答していないもの	
	3	イに1と解答しているが, アに3と解答していないもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

「心を打たれる」の意味は、「感動する」、「心を強く動かされる」などである。このことから、アは選択肢3が正答である。イは「心を打たれる」の意味を正しく理解した上で、文の中で適切に使っている選択肢1が正答である。

本問のアの選択肢は、「心」を用いた慣用句の意味を表している。選択肢1「一つのことに集中する」という意味をもつものは「心を傾ける」、選択肢2「遠りよする」という意味をもつものは「心を置く」、選択肢4「あれこれと心配する」という意味をもつものは「心を痛める」である。このように、慣用句には様々なものがある。児童自ら国語辞典などを用いて調べ、様々な慣用句の意味を理解できるように指導することが大切である。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「心を打たれる」の意味を理解しており、文の中で適切に使うことができている。
- 【解答類型2】は、「心を打たれる」の意味を理解しているが、文の中で適切に使うことはできていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、「心を打たれる」の使い方として、イに1を選択しているが、「心を打たれる」の意味については理解していないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A[8]	日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える	79.9%	P. 32~P. 33	P. 139~P. 140
H25A[2]ー	ことわざの意味として適切なものを選択する(石の上にも三年)	71.3%	P. 17~P. 19	P. 27~P. 29
H25A[2]ニ	ことわざの意味として適切なものを選択する(急がば回れ)	86.2%	P. 17~P. 19	P. 27~P. 29
H26A[2]ー	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)	56.0%	P. 17~P. 18	P. 27~P. 29
H26A[2]ニ	故事成語の使い方として適切なものを選択する(百聞は一見にしかず)	50.1%	P. 17~P. 18	P. 27~P. 29
H29A[5]ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(三度目の正直)	90.1%	P. 30~P. 32	P. 40~P. 43
H29A[5]イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(もちはもち屋)	83.8%	P. 30~P. 32	P. 40~P. 43

国語 A 7 敬語を使う

- 4 ア いらっしゃいました
- 3 ア 来ました
- 2 ア いらっしゃいました
- 1 ア 来ました
- イ 言っていた
- イ おっしゃっていた
- イ おっしゃっていた
- イ 言っていた

【話を聞いている様子の一部】

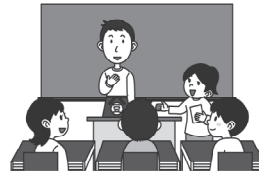
石橋さん みなさん、池田さんがア。今日は、おとう、小屋さんの仕事について、たくさん教えていただきました。池田さん、お願いします。

池田さん みなさん、こんには。

（池田さんの話を聞く）

石橋さん 池田さん、ありがとうございます。池田さんに質問のある人はいますか。

高野さん おとう、小屋さんは、朝早く起きなければならぬので、とても大変だと私の母がイのです。池田さんはどうですか。



7 石橋さんたちは、地域の人から仕事についての話を聞いています。次の【話を聞いている様子の一部】を読み、ア、イに入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1. 出題の趣旨

相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるかどうかをみる。

高学年は、敬語の役割や必要性を自覚してくる時期である。相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切である。日常生活において、相手と自分との関係を意識しながら、尊敬語や謙譲語をはじめ、丁寧な言い方などについて理解することが大切である。

本問では、学級で地域の人から仕事についての話を聞く場面を設定した。ここでは、話し手である地域の人と自分との関係や、家族と自分との関係を意識して、敬語を適切に使うことを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- (1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項
- (ク) 日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
7	1	1 と解答しているもの	◎
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

敬語を用いる場合、相手と自分との関係を考えて、敬語を使うかどうかを判断することが必要である。本問は、地域の豆腐店で働いている池田さんから仕事についての話を聞いている場面である。アは、池田さんを教室に迎える場面である。池田さんと石橋さんの関係を考えると、尊敬語の「いらっしゃいました」を用いることが適切である。イは、高野さんが自分の母から聞いたことについて池田さんに質問する場面である。母は身内であり、自分や身内に関わる行動については尊敬語を用いないため、ここでは「言っていた」が適切である。このことから、選択肢4が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、高野さんは自分の母に対して尊敬語を用いないことを捉えることはできているが、石橋さんは池田さんに対して尊敬語を用いることを捉えることができていない。
- 【解答類型2】は、石橋さんは池田さんに尊敬語を用いることを捉えることはできているが、高野さんは自分の母に対して尊敬語を用いないことを捉えることができていない。
- 【解答類型3】は、石橋さんは池田さんに対して尊敬語を用いること、高野さんは自分の母に対して尊敬語を用いないことを捉えることができていない。
- 【解答類型4】は、石橋さんは池田さんに対して尊敬語を用いること、高野さんは自分の母に対して尊敬語を用いないことを捉えることができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B 1	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	55.5%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151

国語 A 8 文の中で漢字を使う

- | | | |
|---|--|---|
| <p>オ</p> <p>3 2 1
せき任の重い仕事を
大会でよい成せきを
三角形の面せきを
求める。</p> | <p>ウ</p> <p>3 2 1
細かい説明をはぶく。
ノートに文字を
運動会で赤組が
かつ。</p> | <p>ア</p> <p>3 2 1
せい限時間に
新せい品の価格を
道具箱の中を
せい理する。</p> |
| <p>エ</p> <p>3 2 1
かん成した作品を
近くの警察かん
ビーカーと試験かん
を水で洗う。</p> | <p>イ</p> <p>3 2 1
劇のやくの希望を
遠くへホールを
なげる。</p> | <p>オ</p> <p>3 2 1
新しい規則を
もうける。</p> |

【問い】 「ノートの一部」の「アからオ」の部は、どのような漢字を使って書きますか。部と同じ漢字を部を使って書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【ノートの一部】

おかし店の見学に行って分かったこと

調理場には、生地を練る機械など、ア せい造に必要なイ せつ備がある。

衛生を保つために、調理器具などを一口に何度もウ しょう毒する。

お客様に美味しいおかしを食べてもらうために、品質をしっかりとエ かん理している。

地元の野菜や果物などを使った新しいおかしをオ せつ極的に開発している。

8 矢野さんは、見学したことをノートにまとめています。次の「ノートの一部」をよく読んで、あとの「問い」に答えましょう。



1. 出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

漢字を正しく読み、正しく書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けることは重要である。また、国語科の学習のみならず、各教科等の学習の基礎となる力であり、日常生活に欠かせない知識や技能である。

本問では、既習の漢字の定着状況を把握するために、第3学年（「消」）、第4学年（「管」、「積」）、第5学年（「製」、「設」）の配当漢字を取り上げた。ここでは、見学に行って分かったことをノートにまとめる場面を設定している。書かれている内容や文の意味を理解し、文の中で漢字を正しく使うことが重要である。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
8	ア	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	イ	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	ウ	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	エ	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
オ	1	1 と解答しているもの	◎	
	2	2 と解答しているもの		
	3	3 と解答しているもの		
	99	上記以外の解答		
	0	無解答		

■正答について

【ノートの一部】は、おかし店を見学して分かったことをまとめているものである。矢野さんが見学したことをノートにまとめているということを捉えることが大切である。その上で、【ノートの一部】の中にあるそれぞれの文において、用いられている言葉や文脈との関係から、どの漢字を使うことが適切であるかを捉えることが必要である。

アについては、「せい造」という語から、「作ること、作ったもの」の意味をもつ「製」という漢字を使う。そのため、選択肢2が正答である。

イについては、「せつ備」という語から、「設」という漢字を使う。そのため、選択肢1が正答である。

ウについては、「しょう毒」という語から、「きえること、けすこと」の意味をもつ「消」という漢字を使う。そのため、選択肢2が正答である。

エについては、「かん理」という語から、「管」という漢字を使う。そのため、選択肢3が正答である。

オについては、「せつ極的」という語から、「積」という漢字を使う。そのため、選択肢1が正答である。

■解答類型について

ア 【解答類型1】は、「製」を、同じ発音で字形が似ている「制」と捉えたと考えられる。

【解答類型3】は、「製」を、同じ発音をする「整」と捉えたと考えられる。

イ 【解答類型2, 3】は、「設」を、同じつくりである「役」, 「投」と捉えたと考えられる。

ウ 【解答類型1, 3】は、「消」を、同じ発音をする「省」, 「勝」と捉えたと考えられる。

エ 【解答類型1】は、「管」を、同じ発音をする「完」と捉えたと考えられる。

【解答類型2】は、「管」を、同じ発音で字形が似ている「官」と捉えたと考えられる。

オ 【解答類型2, 3】は、「積」を、同じ発音で字形が似ている「績」, 「責」と捉えたと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H23A[1]— (3)	漢字を読む(むだを <u>省</u> くようにする。)	未実施	P. 12~P. 13	未実施
H25A[1]ニ (3)	漢字を書く(委員会を <u>も</u> うける。)	53.7%	P. 14~P. 16	P. 24~P. 26
H28A[1]— 3	漢字を読む(むだを <u>省</u> くようにする。)	81.2%	P. 14~P. 16	P. 25~P. 27

Ⅲ 調査問題の解説

（出題の趣旨，解説，解答類型等）

B 主として「活用」に関する問題

国語B 1 言葉の使い方を見直すために、話し合う

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことにしました。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこれから言葉をどう使っていくかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中 ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

北川 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今まではちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと思います。

司会 ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池 例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができると」という意味で使っていますが、辞書には「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会 ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれていないという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木 本来の意味とは異なる使われ方をしていると田中さんは言っていました。そのような使われ方をしても自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていくことだと思います。

◇司会 金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていくかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山

（話し合いが続く）

1 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確かめるため。

2 【話し合いの様子の一部】の司会は、部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出すようとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

3 松山さんは、【話し合いの様子の一部】の□で、自分の考えを話します。あなたが松山さんなら、どのような考えを話しますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- の金子さんや青木さんのように、代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。
- ◇司会が話しているように、「これから言葉をどのように使っていくか」について書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿紙は書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◇の印から書きましょう。どちら側で行を交えないで、続けて書きましょう。

100字 80字

1. 出題の趣旨

互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高めることは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても大切である。話し合いには、グループや学級全体での共通理解や問題解決に向けて、相互の知識や考え、意見などを出し合い一つにまとめていく協議と、互いの考えの違いを大事にしなが、多くの考えを関係付けていく討論とがある。いずれの場合も、互いの立場や意図をはっきりさせなが、計画的に話し合いを進める能力や態度が必要となる。

本問では、学級において、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合う場面を設定した。ここでは、司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことや、自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめることが求められる。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。

2. 解説

設問一

趣旨

話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、提案者である田中さん、北川さん、小池さんの発表を聞いた木村さんが、小池さんの発表に対して質問する場面を設定した。ここでは、提案者の発表を受けて、木村さんがどのような意図で質問をしているのかを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせなが、計画的に話し合うこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
1	-	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うためには、参加者として、相手の意図は何か、共に考えたいことは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞く必要がある。その際、分からない点や確かめたい点がある場合は、そのことについて質問することが大切である。

【話し合いの様子の一部】の中で、提案者である小池さんは、「時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと思います」と発表している。ここでは、その小池さんの発表を聞いた木村さんが、「時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか」と質問することによって、時代によって使われ方が変わった言葉の具体的な例が他にもあるかを確認しようとしているということを捉える必要がある。このことから、選択肢4が正答である。

なお、本設問の選択肢1, 2, 3も、話し合いにおける質問の意図として考えられる。選択肢1の「発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため」の質問としては、「○○について、もう一度説明してもらえますか」、選択肢2の「相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため」の質問としては、「○○さんの考えの中で、一番伝えたいことは何ですか」、選択肢3の「相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため」の質問としては、「○○という考えの理由は、○○ですか」などといった質問が考えられる。

■解答類型について

- 【解答類型1, 2, 3】は、木村さんの質問が、「具体的な例がほかにもあるかを確認するため」の質問であるということをつまえることができていない。
- 【解答類型4】は、木村さんの質問が、「具体的な例がほかにもあるかを確認するため」の質問であるということをつまえることができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H26B 1=	林さん⑤の質問のねらいとして適切なものを選択する	60.3%	P. 36～P. 42	P. 48～P. 57

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 4～P. 5

設問二

趣旨

計画的に話し合うために、司会の役割について捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、三人の提案を受けて、司会者が目的に応じて話し合いを進行する場面を設定した。ここでは、提案者の意見を受け、整理し、参加者の考えを引き出すなど、話し合いにおける司会の役割を捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
①	二	1 1 と解答しているもの	◎
		2 2 と解答しているもの	
		3 3 と解答しているもの	
		4 4 と解答しているもの	
		99 上記以外の解答	
		0 無解答	

■正答について

司会者、提案者、参加者などは、それぞれの役割を理解し、話題に沿って発言しているか、その発言は話し合いの流れを踏まえているかなどの観点に基づいて適時判断しながら話し合いを進めるようにすることが大切である。

【話し合いの様子の一部】の中で、司会者は話し合いが目的に応じて適切に進行するように、提案者である田中さん、北川さん、小池さんの発表を、それぞれの立場と理由を述べながら整理し、その上で参加者に発言を促している。このことから、選択肢 1 が正答である。

■解答類型について

○ 【解答類型 1】は、司会が —— 部のように発言することによって、「話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている」ことを捉えることができている。

○ 【解答類型 2, 3, 4】は、司会が —— 部のように発言することによって、「話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている」ことを捉えることができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B ² 三	話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する	52.5%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161
H26B ¹ 一	司会④の発言の内容をまとめて書く	65.4%	P. 36～P. 42	P. 48～P. 57

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 4～P. 5

設問三

趣旨

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができるかどうかをみる。

本設問では、【話し合いの様子の一部】において提案者、参加者の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えたことを発表する場面を設定した。ここでは、相手の話の内容を十分聞き取り、自分の考えと比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

話す・聞く能力

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
1	<p>三</p> <p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 以下の内容を取り上げて書いている。 a 北川さん、小池さんのいずれかの意見 b 取り上げたことに対してどう考えるのか</p> <p>② ◇司会が話しているように、「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書いている。</p> <p>③ 80字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北川さんが話したように、わたしも言葉を省略して話す人は確かに多いと思います。これからは、相手や場に合っているかどうかを考えながら、言葉をなるべく省略せずに使っていきたいと思います。(91字) ・ 時代によって言葉の使われ方は変わると小池さんは言っていました。だからこそ、言葉の本来の意味や使い方をきちんと学ぶべきだとぼくは思います。これからは、言葉の本来の使い方を調べて使っていきたいです。(98字) 	
1	条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	◎
2	条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
3	<p>条件①a, bは満たしているが、条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 北川さんが言うように、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と省略してしまうと、相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。(88字)</p>	
4	<p>条件①a, ②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 小池さんは、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても言葉はみだれていないと言っていました。わたしは言葉の意味をよく調べて使っていきたいと思います。(91字)</p>	
5	<p>条件①b, ②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ わたしは、言葉を省略して話す人が多いと思います。省略した言葉で相手に自分の考えを伝えるのはむずかしいので、これからは省略しないで言葉を使っていきます。(76字)</p>	
6	<p>条件①aは満たしているが、条件①b, ②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 小池さんは、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと言っていました。(69字)</p>	
7	<p>条件①bは満たしているが、条件①a, ②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 確かに「全然いい」という言葉は友達と話す時にも使っています。時代によって言葉の使われ方が変わるんだなと思いました。(58字)</p>	

8	条件②は満たしているが、条件①a, bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ ぼくはこの前、先生に、年上の人に対する言葉づかいを注意されました。 これからは、ていねいな言葉づかいをするように心がけていきたいと思 います。(70字)
99	上記以外の解答
0	無解答

■正答について

【話し合いの様子の一部】においては、「自分たちの言葉の使い方を見直す」という目的で、立場を決めて話し合いが行われていることを踏まえる必要がある。その上で、提案者の意見を取り上げ、それに対して自分はどうか考えるのか、また、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについてまとめる必要がある。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、それに対して自分はどうか考えるのか、また、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについて、80字以上、100字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、それに対して自分はどうか考えるのか、また、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについては書いている。しかし、80字以上、100字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、それに対して自分はどうか考えるのかについては書いている。しかし、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについては書いていない。
- 【解答類型4】は、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについては書いている。しかし、取り上げたことに対してどうか考えるのかについては書いていない。
- 【解答類型5】は、取り上げたことに対してどうか考えるのかと、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについては書いている。しかし、北川さん、小池さんどちらの意見も取り上げて書いていない。
- 【解答類型6】は、北川さん、小池さんのいずれかの意見のみ書いている。
- 【解答類型7】は、取り上げたことに対してどうか考えるのかについてのみ書いている。
- 【解答類型8】は、これから自分はどのように言葉を使っていききたいかについてのみ書いている。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B ² ニ	提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する	52.9%	P. 44～P. 51	P. 153～P. 161
H26B ¹ ニ	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	28.4%	P. 36～P. 42	P. 48～P. 57
H28B ¹ ニ	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	50.6%	P. 36～P. 42	P. 52～P. 59

3. 出典等

・文化庁文化庁国語課『平成24年度 国語に関する世論調査』（平成25年9月）、文化庁文化庁国語課『平成26年度 国語に関する世論調査』（平成27年9月）、文化庁文化庁国語課『平成27年度 国語に関する世論調査』（平成28年9月）などを参考にした。

国語B 2 献立を推薦する文章を書く（「かみかみあえ」）

2

星野さんは、給食の献立の一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての「紹介する文章」と、それをもとにしておうちの人のに向けて書いている「おすすめする文章」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



かみかみあえ

【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、[※]するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。
中華風^{中華風}ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

※「するめ」：イカを干した食品

【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このような名前がついています。おうちの人の、「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすめします。するめは、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいて、たまらないおいしさです。

特におすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。「かみかみあえ」は、

おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにつながる「かみかみあえ」をぜひ、おうちのメニューの一つに加えてください。

1 星野さんが「紹介する文章」をもとにして書くときに、「おすすめする文章」の最初の部分に、[※]のように書いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 疑問を提示し、読者が興味をもって読めるようにするため。自分が伝えたいことを述べ、読者の理解を助けるため。
- 2 具体的な例を多く挙げ、読者に納得してもらうため。
- 3 自分の経験を述べ、読者の経験と比べて考えてもらうため。
- 4 自身の経験を述べ、読者の経験と比べて考えてもらうため。

2 星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して「おすすめする文章」の□□を□□に記入内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

〈条件〉

- 「紹介する文章」と「保健室の先生の話から分かったこと」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「おすすめする文章」にふさわしい言葉を用いて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、八十文字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の縦線用紙は書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、縦線用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。とらやうで行文を変えないで、続けて書きましょう。

「かみかみあえ」は、

50字

80字

3 星野さんは、「紹介する文章」をもとにして「おすすめする文章」を書くときに、どのようなふうをして書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 おうちの人の深く考えてもらうために、経験を思い起こすことができるようにしている。
- 2 おうちの人の納得してもらうために、よい点だけではなく、よくない点も示している。
- 3 おうちの人のよさを理解してもらうために、ほかのものとは比べている。
- 4 おうちの人の自分のこととして考えてもらうために、疑問を投げかけている。

1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して、推薦する文章を書くことができるかどうかをみる。

自分が他の人に薦めたいと思う事物を取り上げ、そのよさが多くの人に伝わるように推薦する文章を書くためには、その事物についてよく認識し、確かな理由や根拠を明確にして説明する必要がある。

本問では、給食の献立を取り上げ、各家庭でメニューの一つに加えてもらうために、推薦する文章を書く場面を設定した。ここでは、自分の考えを明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考えること、事物を推薦するために推薦する理由を詳しく書くこと、他のものと比較してのよさを書くことよいことを捉えることが求められる。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

2. 解説

設問一

趣旨

目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることができるかどうかをみる。

本設問では、自分の考えの中心を文章の冒頭部に位置付けることの効果を考える場面を設定した。ここでは、文章の冒頭部に、自分の考えの中心を位置付けることで、推薦する理由についての相手の理解が明確になるという効果があることを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
2	—	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

【おすすめする文章】が、「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいという目的で書かれていることを踏まえ、最初の部分に [] のように書いた理由を捉えることが求められる。[] には、星野さんが伝えたいことが書かれており、読者の理解を助けているため、選択肢2が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1, 3, 4】は、星野さんが【おすすめする文章】の最初の部分に [] のように書いた理由を捉えることができていない。
- 【解答類型2】は、星野さんが【おすすめする文章】の最初の部分に [] のように書いた理由を捉えることができている。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H28B [2] 三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	58.5%	P. 44～P. 51	P. 60～P. 69
H29B [2] 一	【緑のカーテン作りへの協力のお願ひ】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	71.0%	P. 50～P. 57	P. 64～P. 73

設問二

趣旨

目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができるかどうかをみる。

本設問では、目的や意図に応じて、内容を詳しく書く場面を設定した。ここでは、推薦する理由として、【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から適切な内容を取り上げて、相手に伝わるように詳しく書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
② 二	<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① むし歯を防ぐ効果について、【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から以下の内容を取り上げて書いている。 a よくかむこと b だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと</p> <p>② 【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (「「かみかみあえ」は、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。よくかむため、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。(78字) ・ よくかんで食べるこんだてなので、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。(62字) 	
	1 条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	◎
	2 条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
	3 条件①a, bは満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ よくかんで食べるこんだてである。よくかむため、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。(66字)	
	4 条件①a, ②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。よくかむため、むし歯になりにくいのです。(55字)	
	5 条件①b, ②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいこんだてなのです。(51字)	
	6 条件①aは満たしているが、条件①b, ②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてであるため、むし歯を防ぐ効果がある。(50字)	
	7 条件①bは満たしているが、条件①a, ②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。(43字)	

8	条件②は満たしているが、条件①a, bは満たしていないもののうち、むし歯を防ぐことについて書いているもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ すごいこんだてです。なぜなら、「かみかみあえ」を食べると、むし歯になりにくいからです。(53字)
99	上記以外の解答
0	無解答

■正答について

星野さんは、むし歯を防ぐ効果について書くことで、「かみかみあえ」を各家庭のメニューに加えてもらおうとしている。「かみかみあえ」は、するめが入っていてよくかんで食べる献立であることから、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいということを捉え、説明する必要がある。

ここでは、【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から必要な内容を取り上げ、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書く必要がある。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、むし歯を防ぐ効果について、必要な内容を取り上げ、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて、50字以上、80字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、むし歯を防ぐ効果について、必要な内容を取り上げ、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いている。しかし、50字以上、80字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、むし歯を防ぐ効果について、必要な内容を取り上げて書いている。しかし、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いていない。
- 【解答類型4】は、むし歯を防ぐ効果について、「よくかむこと」を取り上げ、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いている。しかし、むし歯を防ぐ効果について、「だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと」を取り上げて書いていない。
- 【解答類型5】は、むし歯を防ぐ効果について、「だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと」を取り上げ、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いている。しかし、むし歯を防ぐ効果について、「よくかむこと」を取り上げて書いていない。
- 【解答類型6】は、むし歯を防ぐ効果について、「よくかむこと」を取り上げて書いている。しかし、むし歯を防ぐ効果について、「だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと」を取り上げて書いておらず、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いていない。
- 【解答類型7】は、むし歯を防ぐ効果について、「だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと」を取り上げて書いている。しかし、むし歯を防ぐ効果について、「よくかむこと」を取り上げて書いておらず、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いていない。
- 【解答類型8】は、【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書いている。しかし、むし歯を防ぐ効果について、必要な内容を取り上げて書いていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A ⁷	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	43.7%	P. 28～P. 31	P. 136～P. 138
H24B ¹ 二	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	55.5%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151
H25B ² 一	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	64.0%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H27B ¹ 二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	71.0%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H27B ¹ 三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	34.9%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H29A ² 一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	79.7%	P. 18～P. 21	P. 26～P. 29
H29B ² 三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の□イに入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	33.2%	P. 50～P. 57	P. 64～P. 73

設問三

趣旨

推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、推薦理由を明確に表現するための工夫について考える場面を設定した。ここでは、【紹介する文章】を基にして、「ツナマヨサラダ」と比べて推薦する理由を書くことで、「かみかみあえ」のよさがより伝わるということを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
②	三	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

星野さんは、「かみかみあえ」を推薦するために、「ツナマヨサラダ」と比べてよさについて説明していることを捉える必要がある。【おすすめする文章】を書くときの工夫として、おうちの人によさを理解してもらうために、他のものと比較したことを書いていることから、選択肢3が正答である。

■解答類型について

- 【解答類型1, 2, 4】は、「ツナマヨサラダ」と比べて推薦する理由を書くことで、「かみかみあえ」のよさを理解してもらえらるということ捉えることができていない。
- 【解答類型3】は、「ツナマヨサラダ」と比べて推薦する理由を書くことで、「かみかみあえ」のよさがより伝わることを捉えることができています。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A⑦	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く	43.7%	P. 28～P. 31	P. 136～P. 138
H24B①ニ	目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する	55.5%	P. 38～P. 43	P. 144～P. 151
H25B②一	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	64.0%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H27B①ニ	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	71.0%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H27B①三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	34.9%	P. 36～P. 43	P. 48～P. 55
H29A②一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	79.7%	P. 18～P. 21	P. 26～P. 29
H29B②三	「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の□イに入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	33.2%	P. 50～P. 57	P. 64～P. 73

3. 出典等

・文部科学省 学校歯科保健参考資料『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』(2011年3月)などによる。

国語B 3 伝記を読み、自分の考えをまとめる（湯川秀樹博士）

3

山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士について書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの「ノートの一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

湯川秀樹（一九〇七年～一九八一年）

物理学者。全てのもは非常に小さいつぶらでできており、そのつぶらに関する新しい考えを導き出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらした。

<p>心に残った行動や成しとげたこと</p> <p>おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりして、家や門を作っていた。</p>	<p>思ったこと</p> <p>物事への熱中の仕方がすごい。わたしもパズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。</p>
<p>A</p> <p>小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っていた。最初は兄弟姉妹の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p>	<p>続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っている。やりたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p>
<p>数学によって考えることの喜びを教えられた。おもしろい問題に出会うとファイトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。</p>	<p>わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろう。</p>
<p>B</p> <p>家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなないと断った。自分の方で、やれるところまでやってみたい。何度失敗してもよいと考えた。</p>	<p>湯川博士も苦しいと思うときがあったということにおどろいた。</p> <p>一度始めたことはなかなかやめないという湯川博士のことをよく表している。</p>
<p>C</p> <p>最も心がひかれた一文とその理由</p>	



1. 出題の趣旨

伝記を読んで、心に残ったことについて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

伝記を読む際は、伝記に描かれた人物の行動や生き方と、自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめることなどを通して、自分の生き方について考えることができるようにすることが大切である。

本問では、湯川博士について書かれた本を読んで最も心がひかれた一文を選び、その理由を書く場面を設定した。ここでは、書き手が違う2冊の本を読み比べ、書き表し方の特徴を捉えて読むことや、選んだ一文に最も心がひかれた理由を明確にしていく中で、湯川博士の生き方や考え方を捉えて読むことが求められる。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。

2. 解説

設問一

趣旨

目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができるかどうかをみる。

本設問では、伝記「湯川秀樹」を読み、「心に残った行動や成しとげたこと」として取り上げたことの中で、さらに詳しく知りたいと思ったことについて調べるために、【自伝「旅人」の一部】を読むという場面を設定した。ここでは、山下さんが【自伝「旅人」の一部】を読んだ目的を捉えた上で、【ノートの一部】のAと【自伝「旅人」の一部】とを比べて読むことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
③	—	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

山下さんは、湯川博士が書道を習い続けていたことについて詳しく知りたいと思って【自伝「旅人」の一部】を読んだ、ということをつめる必要がある。【ノートの一部】のAには、湯川博士が書道を習い続けていたことが書かれており、山下さんは「思ったこと」に「続けることは大変だけれど大切だ」と書いている。また、【自伝「旅人」の一部】には、湯川博士が書道を習っていた頃を振り返って自分自身をどのように思っていたのかが書かれている。以上のことから、選択肢1が正答である。

伝記には、様々なものがあり、複数の本を比べて読むことで、取り上げられた人物の生き方や人生などをより深く知ることができるということについて指導することが大切である。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、【自伝「旅人」の一部】には、湯川博士が書道を習い続けていた自分自身をどのように思っていたのかについて書かれているということをつめることができる。
- 【解答類型2】は、【自伝「旅人」の一部】には、湯川博士がどのような書き方を身に付けたのかについては書かれていない、ということをつめることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、【自伝「旅人」の一部】には、湯川博士がどのような研究に取り組んでいたのかについては書かれていない、ということをつめることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、山下さんがどのようなことを知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのかをつめることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B③≡	目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する	58.0%	P. 52～P. 61	P. 163～P. 171
H26B②≡	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	66.2%	P. 44～P. 51	P. 58～P. 68

設問二

趣旨

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうかをみる。

本設問は、伝記「湯川秀樹」を読んで、最も心がひかれた一文を選んだ理由を書く場面を設定した。ここでは、【ノートの一部】のC最も心がひかれた一文とその理由の「 」に、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて、【伝記「湯川秀樹」の一部】の中から、湯川博士の具体的な行動を取り上げて書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
③	二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかを考えて書いている。</p> <p>② 【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、60字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「また、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 湯川博士は大学を卒業した後も、昼夜を問わず研究のことを考え、ふとんに入ってから次々にうかんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置くようにしていた。(88字) ・ ふとんに入ってから研究のことを考え、次々にうかんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置き、アイデアを思いつくごとにノートに書きこんでいた。(85字) 	
	1	条件①, ②, ③を満たしているもの	◎
	2	条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	
	3	条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもののうち, 【ノートの一部】の「心に残った行動や成しとげたこと」や【自伝「旅人」の一部】から言葉や文を取り上げて書いているもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 湯川博士は、小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っており、兄たちはやめてしまったが、湯川博士は習い続けた。いったんはじめてたことをなかなか捨てさせない一流のしんぼう強さがあった。(97字)	
	4	条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもののうち, 【ノートの一部】の「心に残った行動や成しとげたこと」以外の言葉や文を【ノートの一部】から取り上げて書いているもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 湯川博士は、小さなつづについて考え続け、新しい考え方を導き出し、日本人ではじめてノーベル賞を受賞して戦後の日本に希望をもたらした。(68字)	
	5	条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○ 世界では、湯川博士が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいたが、湯川博士は研究の見通しが見つらず、苦しい日々だった。(63字)	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■正答について

【ノートの一部】の 最も心がひかれた一文とその理由の には、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書く必要がある。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて、60字以上、100字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、60字以上、100字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて書いている。しかし、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書いていない。【ノートの一部】の「心に残った行動や成しとげたこと」や【自伝「旅人」の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。

(例)

- ・ (「また、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) 数学によって考えることの喜びを教えられた湯川博士は、むずかしい問題に出会うとファイトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らないほどだった。(82字)

上記の例は、【ノートの一部】の「心に残った行動や成しとげたこと」から言葉や文を取り上げて書いている。

(例)

- ・ 湯川博士の男の兄弟たちは、だいぶ、へきえきして次第にけいこをやめてしまったが、湯川博士には一流のしんぼう強さがあったので、書道をやめなかった。(74字)

上記の例は、【自伝「旅人」の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。

- 【解答類型4】は、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて書いている。しかし、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書いていない。【ノートの一部】の「心に残った行動や成しとげたこと」以外の言葉や文を【ノートの一部】から取り上げて書いている。

(例)

- ・ 湯川博士は、物事への熱中の仕方がすごい。ぼくも好きなことに熱中することはあるけれど、湯川博士のように長くはできないと思う。(64字)

- 【解答類型5】は、【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかについて書いていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24B ³ 四	二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する	38.1%	P. 52～P. 61	P. 163～P. 171
H26B ² 一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	72.0%	P. 44～P. 51	P. 58～P. 68
H26B ² 二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	27.1%	P. 44～P. 51	P. 58～P. 68
H28B ³ 三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	53.2%	P. 52～P. 59	P. 70～P. 78

3. 出典等

・【ノートの一部】と【伝記「湯川秀樹」の一部】は、湯川秀樹『旅人 ある物理学者の回想』（1960年1月 株式会社角川学芸出版）、二反長半『伝記文庫・D-19 湯川秀樹』（1994年3月 株式会社ポプラ社）、プロジェクト新・偉人伝 著作・編集『この人を見よ！ 歴史をつくった人びと伝27 湯川秀樹』（2010年2月 株式会社ポプラ社）などを参考にした。

・【自伝「旅人」の一部】は、湯川秀樹『旅人 ある物理学者の回想』（1960年1月 株式会社角川学芸出版）による。

IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

小学校第6学年
国語A 解答用紙

7011

← 《ここから右には解答を書いてはいけません。》 →

1

3	4
---	---

※解答の順序は問わない。

6

ア	3	イ	1
---	---	---	---

2

2

7

4

3

山本さん……	<table border="1"><tr><td>5</td></tr></table>	5
5		
川上さん……	<table border="1"><tr><td>3</td></tr></table>	3
3		

8

ア	2	イ	1
ウ	2	エ	3
オ	1		

※ 1 から 3 までの番号を書きましよう。

4

2

5 選んだ文の番号……

4

書き直した一文

例 反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。

← 《ここから右には解答を書いてはいけません。》 →

← 《ここから下には解答を書いてはいけません。》 →

学校名

組

男女

個人番号①

個人番号②

30
国A
算A

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1061

小学校第6学年
国語B 解答用紙

《ここから下には解答を書きはいりません。》

1

一	4
二	1
三	<p>※◆の印から書きましょう。とちゅうて行を変えないで、続けて書きましょう。</p> <p>例 北川さんが話したように、わたしも言葉を省略して話す人は確かに多いと思います。これからは、相手や場に合っているかどうかを考えながら、言葉をなるべく省略せずに使っていきたいと思います。</p>

100字

2

一	2
二	<p>※◆の印から書きましょう。とちゅうて行を変えないで、続けて書きましょう。</p> <p>例 「かみかみあえ」は、ずるめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。よくかむため、だ液がたくさん出^でて、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。</p>
三	3

80字

3の解答らんは、裏面にあります。

《ここから下には解答を書きはいりません。》

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	男女	個人番号①	個人番号②

30 国B

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1062

国語 B

《ここから左は解答を書きはいけません》

3

一	1	※◆の印から書きましょう。とちやうで行き変えないで、続けて書きましょう。									
二	例	また、◆湯川博士は大学を卒業した後も、昼夜									
		を問わず研究のことを考え、ふとんに入っ									
		からも次々にうかんでくるアイデアをわす									
		れないために、まくらもとにはノートを置く									
		ようにしていた。									

60字

100字

《ここから左は解答を書きはいけません》

V 点字問題（抜粹）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば次のような配慮を行っている。

(1) 問題文などの記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表などに置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

＜点字問題における具体的な配慮例＞

【通常問題】

A 3

5 4 3 2 1

「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

絵と文章を結びつけながら読む。

「作り方」の中から必要な内容を採りながら読む。

文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。

「材料」の分量を正確に読む。

※解答は、解答明紙に書きましょう。

山本さん……

川上さん……

3

山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読み、家でオムレツを作りました。次の【オムレツのページ】と「オムレツを作ったあとの感想」をよく読んで、あとの【問い】に答えましょう。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおり卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。

少し上げてしまったから、今度はこげないようにしたいな。

どこに気をつけたらよいのだろう。

【問い】 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読むはよいですが、最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

川上さん

山本さん

小国A-6

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか

オムレツ

(調理時間約10分)

材料 (一人分)

卵……………2個
 バター……………5グラム
 塩……………少々
 こしょう……………少々

作り方

- ボウルに卵を割り入れ、溶きほぐし、塩、こしょうで味つけをする。
- 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶けきる前に卵を一気に流し入れる。
- フライパンを前後に動かしながら、さいばしで円をえがくように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。
- 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。
- 向こう側の卵を手前に折り返す。
- 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。自身と自身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

小国A-5

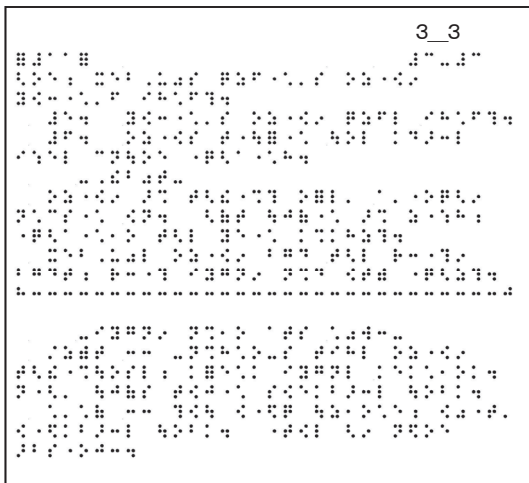
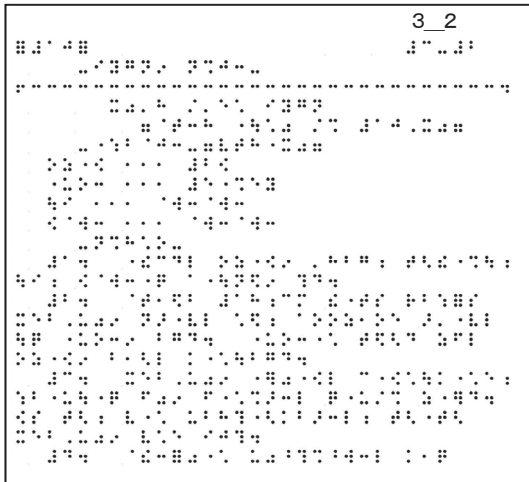
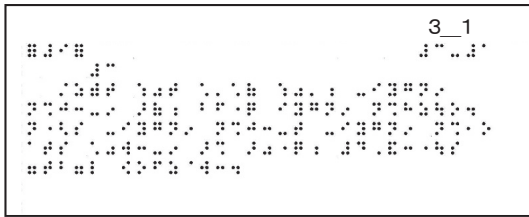
【点字問題】

A 3

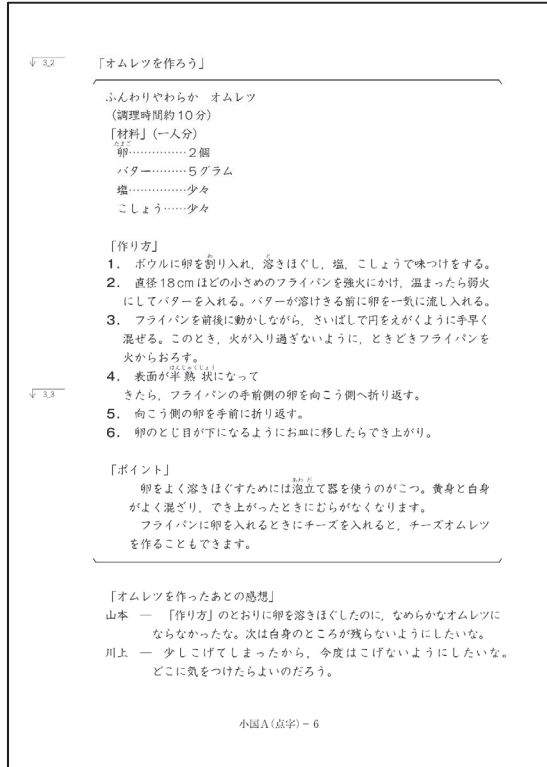
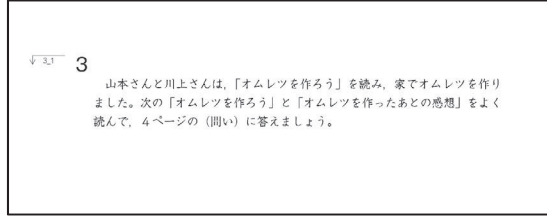
本問題では、主に次のような配慮を行った。

- 通常問題の【オムレツを作ったあとの感想】では、色彩に関する情報が書かれているが、点字を使用する児童にとっては理解が困難である。そこで、点字では、「黄色いきれいなオムレツ」は「なめらかなオムレツ」に、「白いところ」は「白身のところ」にそれぞれ変更した。
- 視覚障害に伴い絵に関する情報を得ることは困難であるため、通常問題では、選択肢で「絵と文章を結びつけながら読む」となっていたものを「調理にかかる時間を確認しながら読む」に変更した。
- 解答の仕方を見通してから選択肢を読めるように、(答え方)を選択肢の前に変更した。

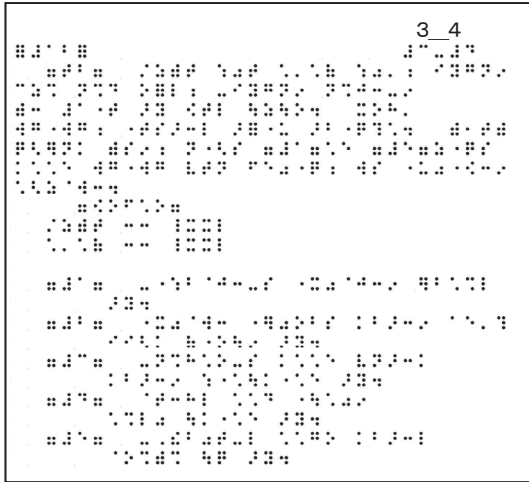
<点字問題（墨点字版）>



<点字問題（活字版）>



<点字問題（墨点字版）>



<点字問題（活字版）>

3_4

(問い) 山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツを作ろう」をもう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを、次の(1)から(5)までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

(答え方)

山本 —

川上 —

(1) 「材料」の分量を正確に読む。
(2) 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
(3) 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
(4) 調理にかかる時間を確認しながら読む。
(5) 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、次のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、丸ゴシック体・中太とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

<拡大文字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】 A1

1 村上さんは、駅で図書館への行き方をたずねられました。次の【二人の会話】で、村上さんはどのように説明していますか。その説明として適切なものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

【二人の会話】

すみません。図書館へ行きたいのですが、どう行けばよいでしょうか。青山橋の先にあると聞いています。

青山橋までの行き方は分かりますか。

村上さん

はい。青山橋までの行き方は分かります。でも、その先の行き方が分からないのです。

そうですか。では、その橋をわたってまっすぐ行くと左手に警察署が見えます。そこを左に曲がるとすぐに図書館が見えてきます。

村上さん

小国A-1

A1では、下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

人物と吹き出しの位置を変更し、だれが発した言葉なのかを捉えやすくした。また、女性のイラストの下に「たずねた人」とガイドを入れた。

【二人の会話】

※ (1) ～ (4) は、会話の順番を示しています。

(1)



たずねた人

すみません。図書館へ
行きたいのですが、
どう行けばよいで

(2)



村上さん

青山橋までの行
分かりますか。

3

山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川博士について書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの「ノートの一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

湯川秀樹（一九〇七年～一九八一年）
 物理学者。全てのものには非常に小さいつぶからできており、そのつぶに関する新しい考えを出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらした。

<p>A 小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っていた。最初は兄弟姉妹の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p>	<p>思ったこと 物事への熱中の仕方がすごい。わたしもバズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。 続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っていた。やめたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p>
<p>心に残った行動や成しとげたこと おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりにして、家や門を作っていた。</p>	<p>思ったこと わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろうか。</p>

数学によって考えることの喜びを教えられた。むずかしい問題に出会うとフライトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。

大学を卒業した後引き続き大学に残り研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。研究の見通しがつかず、苦しい日々が続いていた。

B 家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなかった。自分の力で、やれるところまでやってみよう。何度失敗してもよいと考えた。

C 最も心がひかれた一文とその理由

←

小国 B - 10

3

山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川博士について書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの「ノートの一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

湯川秀樹（一九〇七年～一九八一年）
 物理学者。全てのものには非常に小さいつぶからできており、そのつぶに関する新しい考えを出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらした。

<p>A 小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っていた。最初は兄弟姉妹の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p>	<p>思ったこと 物事への熱中の仕方がすごい。わたしもバズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。 続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っていた。やめたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p>
<p>心に残った行動や成しとげたこと おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりにして、家や門を作っていた。</p>	<p>思ったこと わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろうか。</p>

数学によって考えることの喜びを教えられた。むずかしい問題に出会うとフライトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。

大学を卒業した後引き続き大学に残り研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。研究の見通しがつかず、苦しい日々が続いていた。

B 家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなかった。自分の力で、やれるところまでやってみよう。何度失敗してもよいと考えた。

C 最も心がひかれた一文とその理由

←

小国 B - 9



B 3では、下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。
 通常問題では表形式の見開きで示している【ノートの一部】について、情報とそのまとまりの捉えやすさを考慮して、枠を削除し、パートごとに記号を付した。

【拡大文字問題（抜粋）】 B3

<p>【A】 心に残った行動や成しとげたこと</p> <p>おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりして、家や門を作っていた。</p> <p>【Aに就いて思ったこと】</p> <p>物事への熱中の仕方がすごい。わたしもパズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。</p> <p>小国B-34</p>	<p>【B】 心に残った行動や成しとげたこと</p> <p>小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道習っていた。最初は兄弟姉妹の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p> <p>【Bに就いて思ったこと】</p> <p>続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っている。やめたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p> <p>小国B-35</p>
--	---

<p>【C】 心に残った行動や成しとげたこと</p> <p>数学によって考えることの喜びを教えられた。むずかしい問題に出会うとファイトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。</p> <p>【Cに就いて思ったこと】</p> <p>わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろう。</p> <p>小国B-36</p>	<p>【D】 心に残った行動や成しとげたこと</p> <p>大学を卒業した後も引き続き大学に残り研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。研究の見通しがかす、苦しい日々が続いていた。</p> <p>【Dに就いて思ったこと】</p> <p>湯川博士も苦しむときがあったと聞いておどろいた。</p> <p>小国B-37</p>
--	---

